

モレラ岐阜にアップサイクル什器設置 内装材の循環サイクル構築へ スペース



スペース（東京都、佐々木靖浩社長）は、商業施設のテナント退店時に残される内装材を回収して再活用するプロジェクトを開始した。第1弾として岐阜県本巣市のショッピングモール「モレラ岐阜」の旧テナントの壁面装飾などを加工し、

新たな什器にアップサイクルして設置した。この取り組みは同社リプロダクト推進室によるもので、産業廃棄物の発生抑制を目標としている。

今回は、先般のモレラ岐阜のリニューアルに伴って退店した複数テナントの残置物（壁面装飾や棚板など）を回収して、同社工場（愛知県犬山市）で加工し、「リプロ什器」としてプランターカバーとサインスタンドに再生。モレラ岐阜1階共用部に3セット設置した。廃棄物の発生を抑えた空間づくりの提案により、モレラ岐阜が掲げる「SDGsを体感できる商業施設へ」の実現を支援した。

同社では今後、残置・廃棄される内装材の循環サイクルの確立を目指していく。回収先の幅を広げ、全国の施設で展開していく方針だ。